

## 公的医療機関等 2025 プランに準じた事業計画について（案）

### 1 背景

公立・公的病院以外の個別の医療機関ごとの具体的対応方針については、地域医療構想調整会議において、以下のとおり協議し決定することとされている。

○地域医療構想の進め方について（抄）  
<平成 30 年 2 月 7 日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知>

- ・その他の医療機関に関すること  
開設者の変更を含め構想区域において担うべき医療機関としての役割や機能を大きく変更する病院などの場合には、今後の事業計画を策定した上で、地域医療構想調整会議において、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、対応方針を協議すること。

### 2 役割や機能を大きく変更する医療機関について

役割や機能を大きく変更する医療機関を把握するため、令和元年 10 月に病床機能報告対象の全病院、有床診療所を対象に、県独自調査を実施した。

#### (1) 調査対象

病床機能報告対象の全病院、有床診療所

56 施設（東三河南部構想区域）

#### (2) 役割や機能を大きく変更する医療機関の定義

- ・2025 年 7 月 1 日時点における医療機能が本年から変更「あり」、かつ、現在担っていない医療機能を担う医療機関
- ・開設者の変更を含む、役割や機能を大きく変更する医療機関

#### (3) 事業計画策定対象医療機関

1 施設（有床診療所 1 施設）

### 3 事業計画の内容について

医療機関が策定する事業計画の内容は、公的医療機関等 2025 プランの内容に準じたものとする。

### 4 本日提示する事業計画

ふじい整形外科

### 5 今後の予定

- ・事業計画について、本日のヒアリング（書面）で委員から出た意見を事務局において取りまとめの上、医療機関宛て送付する。
- ・計画に関する補足の意見や、追加の説明を求められた医療機関に関しては、次回の推進委員会に出席していただき、継続審議を行う。

# ふじい整形外科 2025プラン

令和元年 12月 策定

【ふじい整形外科の基本情報】

医療機関名： ふじい整形外科

開設主体：個人

所在地：愛知県蒲郡市拾石町本郷77番地

許可病床数：19床

稼働病床数：0床

診療科目：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

職員数：15人

- ・ 医師 1人
- ・ 看護職員 4人
- ・ 理学療法士 3人
- ・ 専門職（歯科医師・薬剤師・コメディカル）3人
- ・ 事務職員 4人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

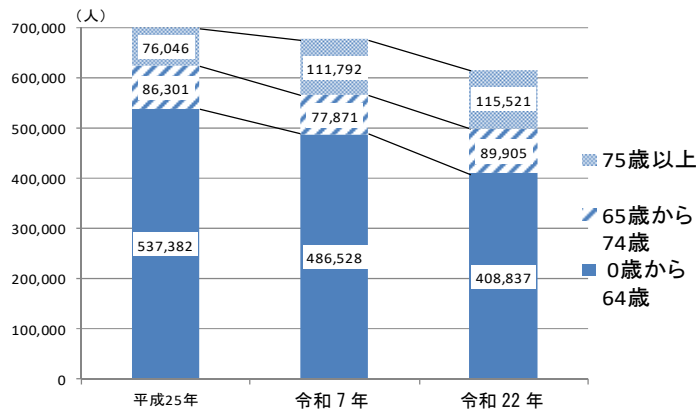
- 総人口は、減少していき、減少率は県全体より高くなっています。65歳以上人口は増加していきませんが、増加率は県全体と比べ低くなっています。

<人口の推移>  
の指数

※ ( ) は平成 25 年を 1 とした場合の各年の

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
東三河南部	699,729 (1.00)	676,191 (0.97)	614,263 (0.88)	162,347 (1.00)	189,663 (1.17)	205,426 (1.27)	76,046 (1.00)	111,792 (1.47)	115,521 (1.52)

<東三河南部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口 10 万対の病院の病床数は、県平均の 122.8%と多くなっていますが、一般病床数は県平均の 89.9%で、療養病床数は 2 倍以上と非常に多くなっています。人口 10 万対の医療従事者数については、医師数が県平均の 82.1%ですが、その他は 9 割程度となっています。
- DPC 調査結果 (DPC 調査参加施設 : 7 病院) によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害) 及び高齢者の発生頻度が高い疾患 (成人肺炎・大腿骨骨折) の入院実績があり、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC 調査データに基づく緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷) の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30 分以内で大半の人口がカバーされていますが、構想区域南部の地域においては、移動時間が長くなっています。
- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成 28 年 3 月現在、構想区域内 (4 病院) において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料 (ICU)・新生児特定集中治療室管理料 (NICU)・総合周産期特定集中治療室管理料 (MFICU)・ハイケアユニット入院医療管理料 (HCU) の届出がされています。

○ 平成 25 年度 (2013 年度) NDB データに基づく特定入院の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区 分	愛知県①	東三河南部②	②/①
病院数	325	35	—
人口10万対	4.4	5.0	113.6%
診療所数	5,259	456	—
有床診療所	408	45	—
人口10万対	5.5	6.4	116.4%
歯科診療所数	3,707	335	—
人口10万対	49.9	47.9	96.0%
病院病床数	67,579	7,808	—
人口10万対	908.9	1,115.9	122.8%
一般病床数	40,437	3,423	—
人口10万対	543.9	489.2	89.9%
療養病床数	13,806	2,745	—
人口10万対	185.7	392.3	211.3%
精神病床数	13,010	1,607	—
人口10万対	175.0	229.7	131.3%
有床診療所病床数	4,801	526	—
人口10万対	64.6	75.2	116.4%

区 分	愛知県①	東三河南部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	1,137	—
人口10万対	197.9	162.5	82.1%
病床100床対	20.3	13.6	67.0%
医療施設従事歯科医師数	5,410	460	—
人口10万対	72.8	65.7	90.2%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	952	—
人口10万対	141.6	136.1	96.1%
病院従事看護師数	36,145	3,194	—
人口10万対	486.1	456.5	93.9%
病床100床対	49.9	38.3	76.8%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	1	—
面積 (km <sup>2</sup> )	5,169.83	671.01	—

(入院患者の受療動向)

○ 入院患者の自域依存率は、4 機能区分全てにおいて 90% を越えており、県内の 2 次医療圏の中で最も高くなっています。また、県外からの若干の患者の流入がみられます。

<平成 25 年度の東三河南部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
東三河南部医療圏	高度急性期	11	*	*	*	*	*	*	*	*	*	328	*	339	
		3.2%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96.8%	—	100.0%	
	急性期	24	*	*	13	*	*	*	*	14	11	14	997	25	1,098
		2.2%	—	—	1.2%	—	—	—	—	1.3%	1.0%	1.3%	90.8%	2.3%	100.0%
	回復期	19	*	*	11	*	*	*	*	*	*	*	1,052	13	1,095
		1.7%	—	—	1.0%	—	—	—	—	—	—	—	96.1%	1.2%	100.0%
慢性期	*	*	0	*	*	*	0	0	*	*	*	1,713	28	1,741	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	98.4%	1.6%	100.0%	

＜平成 25 年度の他医療圏から東三河南部医療圏への流入入院患者の受療動向＞  
 (単位：上段 人／日、下段：%)

医療機関所在地		患者住所地													合計	
		名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
東三河南部医療圏	高度急性期	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	15	328	*	343
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4%	95.6%	—	100.0%
	急性期	*	*	*	*	*	*	*	*	11	*	39	997	17	1,064	
		—	—	—	—	—	—	—	—	1.0%	—	3.7%	93.7%	1.6%	100.0%	
	回復期	*	*	*	*	*	*	*	*	11	*	35	1,052	24	1,122	
		—	—	—	—	—	—	—	—	1.0%	—	3.1%	93.8%	2.1%	100.0%	
慢性期	16	*	*	*	*	*	*	11	25	24	46	1,713	118	1,953		
	0.8%	—	—	—	—	—	—	—	0.6%	1.3%	1.2%	2.4%	87.7%	6.0%	100.0%	

② 構想区域の課題

- 療養病床が多いため、不足する機能への転換を図るとともに、在宅医療への移行を進める必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。
- 病床 100 床対の医療施設従事医師数及び病院従事看護師数が県平均と比べ極めて少なくなっており、その状況を分析し、対応を検討する必要があります。

### ③ 自施設の現状

- 医療提供体制の構築に向けて、各医療機関が、地域における自らの立ち位置を把握するため、地域の実情に加え、自施設の現状を把握することが必要。
- 自施設の現状として、自施設の持つ設備・人材などの医療資源や、地域において現在果たしている役割等について記載。

- ・ 地域密着型医療  
外来通院可能な患者の受け入れをする。  
外来手術等
- ・ 入院が必要な患者は蒲郡市民病院に転送。

### ④ 自施設の課題

- 各医療機関が、地域において今後担うべき役割を検討するに当たり、地域ごとの課題を踏まえ、自施設の持つ課題を整理することが必要。
- 自施設の課題について、①～③の記載事項を踏まえて整理し、記載。

- ・ 近隣に急性期医療施設として蒲郡市民病院がある。唯一の拠点病院であり、1～3次救急まで受け入れの必要性に迫られている。拠点病院の1次救急を受け入れる努力をするべきである。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

#### ① 地域において今後担うべき役割

- ・ 東三河南部において、1次及び2次救急を収容できる施設は蒲郡市民病院のみの状態である。西三河南部、額田郡幸田町及び西尾市幡豆町周辺の収容施設も現状不足していると感じる。住民の高齢化も深刻である。8年間、蒲郡市民病院に従事していましたが、1次救急も2次救急も隔てなく1施設に収容している状況です。入院病床なく、救急の受け入れは困難と考えており、病床の再稼働をすることで1次救急の受け入れに尽力したいと考えております。  
軽症患者の手術対応をしたい。

#### ② 今後持つべき病床機能

- ・ 整形外科領域における外傷患者の受入。
- ・ 上記対応可能な急性期病棟を確立。

#### ③ その他見直すべき点

- ・ 特になし。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (令和元年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	休床中		19床
回復期			
慢性期			
(合計)	休床中		19床

<(病棟機能の変更がある場合) 具体的な方針及び整備計画>

- ・ 病棟の改修・セキュリティ工事中

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	関連施策等
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合意形成に向けた協議</li> <li>○地域医療構想調整会議における合意形成に向け検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自施設の今後の病床のあり方を決定(本プラン策定)</li> <li>○地域医療構想調整会議において自施設の病床のあり方に関する合意を得る</li> </ul>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">                     2年間程度で 集中的な検討を 促進                 </div>
2019～2020年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な病床整備計画を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2019年3月スプリンクラー設備を設置</li> <li>○人材の確保</li> </ul>	
2021～2023年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>○2021年度初頭までに ・病棟稼働</li> </ul>	

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

特になし

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	整形外科	→	整形外科
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	



